



盲人情報文化センター 点字製作係

542-0077 大阪市中央区道頓堀 1 丁目東 3-23 Tel 06-6211-1500 fax 06-6211-1590 点字製作直通 06-6211-0250

郵便屋さんがくる 山の上からゆっくりと 夏をつれて下りてくる 水を張った田んぼには 白い雲が落ち みどりの苗が 文字のように並んでる

あれは 誰への手纸だろう

ゴメンネ 遅クナッテ 声がして

遠い はるかな所から 郵便屋さんがやってくる ぼくのポストへ 一步一步 夏といっしょにやってくる

(高階杞一「初夏」より)



「の」をふくむ複合語のマス空け

文字通りの意味あるいは文字通りの意味に近いときはマス空けし、文字通りの意味から離れて全体で特別な意味を持つときは続ける。ただし、全体で5拍くらいまでは、文字通りの意味に近いときでも慣習的にマス空けしない場合がある。

一般の名詞

●マス空けしない

胃の腑[イノフ]日の目[ヒノメ]蛇の目[ジャノメ]魚の目[ウオノメ]賽の目[サイノメ]御の字[オンノジ]

大の字: 大の字に寝る [ダイノジニロネル]

への字: 口をへの字に結ぶ [クチヲロヘノジニロムスブ]

八の字: 額に八の字を寄せる [ヒタイニロハチノジヲロヨセル]

火の粉 [ヒノコ] 鹿の子 [カノコ]

虎の子 (大切なもの) [トラノコ]

合いの子 [アイノコ] 数の子 [カズノコ] 竹の子 [タケノコ]

お茶の子: お茶の子さいさい [オチャノコロサイサイ]

男の子[オトコノコ]女の子[オンナノコ]火の手[ヒノテ]

合いの手(間の手、相の手) [アイノテ]

鉤の手 [カギノテ] 奥の手 [オクノテ]

孫の手 (背中をかく道具) [マゴノテ]

山の手 [ヤマノテ] 血の気 [チノケ] 火の気 [ヒノケ] 物の怪 [モノノケ] 身の毛 [ミノケ] 髪の毛 [カミノケ] 口の端 [クチノハ] [ヤマノハ] 山の端

言の葉 [コトノハ]

[トシノハ]

年の端

へその緒 [ヘソノオ] [ヒノデ] 日の出 日の入り [ヒノイリ] 日の暮れ [ヒノクレ] [ヒノアシ] 日の脚 [ヒノマル] 日の丸 日の本 [ヒノモト] 火の元 [ヒノモト] [ヒノタマ] 火の玉 火の車 [ヒノクルマ] 承知之助 [ショーチノスケ]

[タマノオ]

玉の緒

[ミノウエ] 身の上 雲の上人 [クモノウエビト] [ワキノシタ] 脇の下 北の方 [キタノカタ]

二の足 [ニノアシ] 二の腕 [ニノウデ] [ニノク] 二の句 二の次 [ニノツギ] ニの舞 [二ノマイ] 二の丸 [2/マル] 三の丸 [3ノマル]

[ハチノスジョー] 蜂の巣状 蜘蛛の巣状 [クモノスジョー] 網の目状 [アミノメジョー]

鵜の目鷹の目 [ウノメロタカノメ] あの手この手 [アノテロコノテ]

●マス空けする

蜂の巣 [ハチノロス] 蜘蛛の巣 [クモノロス] 網の目 [アミノロメ] 魔の手 [マノロテ] 月の出 [ツキノロデ] [ツキノロイリ] 月の入り 火の用心 [ヒノロヨージン] 賽の河原 [サイノロカワラ] [ネコノロメ] 猫の目 上の句 [カミノロク] 下の句 [シモノロク] 奥の間 [オクノロマ] いの一番 [イノ口1バン]

地名(特定の建物・場所を表すこともある)

全体の拍数が5拍以下で「の」の後が2拍以下の時は続ける。全体の拍数が6拍以上で「の」の後が2拍以下の時、および全体の拍数にかかわらず「の」の後が3拍以上の時はマス空けする。

坊津 [ボーノツ]

博多津 [ハカタノツ]

美保関 [ミホノセキ]

安宅の関 [アタカノロセキ]

白河の関 [シラカワノロセキ]

西宮 [ニシノミヤ]

浪速の宮 [ナニワノロミヤ]

飛鳥浄御原宮 [アスカノロキョミハラノロミヤ]

宮宿 [ミヤノシュク]

品川宿(品川の宿) [シナガワノロシュク]

田子ノ浦 [タゴノウラ]

浅香の浦 [アサカノロウラ]

糺の森 [タダスノロモリ]

高田馬場 [タカダノ□ババ]

沖ノ島 [オキノシマ]

沖ノ鳥島 [オキノロトリシマ]

日御碕(日ノ御埼) [ヒノ口ミサキ]

潮岬 [シオノロミサキ]

《例外》

桜ノ宮 [サクラノミヤ]

*旧国名の「〇〇ノクニ」はすべてマス空けする。

陸奥国 [ムツノロクニ]

薩摩国 [サツマノロクニ]

官職名 (特定の人を指すこともある)

「の」の後が2拍以下の時は続け、3拍以上の時はマス空けする。

兵衛佐 「ヒョーエノスケ〕 典薬助 [テンヤクノスケ] 左馬助 [サマノスケ] 典侍 [ナイシノスケ] 権助(権亮)[ゴンノスケ] [ヒタチノスケ] 常陸介

吉良上野介 [キラロコーズケノスケ]

蔵人頭 [クロードノトー]

浅野内匠頭 [アサノロタクミノカミ]

大宰帥 [ダザイノソツ] [サツマノカミ] 薩摩守 「ダイガクノカミ] 大学頭

大岡越前守 [オオオカロエチゼンノカミ]

大宰大弐 [ダザイノロダイニ] [ギョーブノロタイフ] 刑部大輔 織部司 [オリベノロツカサ]

権大僧正 「ゴンノロダイソージョー」

従五位の上 [ジュ5イノロジョー] 従五位の下 [ジュ5イノロゲ]

人名

「の」の後が2拍の時は続け、3拍以上の時はマス空けする。

明石の上 [アカシノウエ] 葵の上 [アオイノウエ] 紫の上 [ムラサキノウエ] [ニオウノミヤ] 匂宮 女三の宮 [オンナロ3ノミヤ] [アキシノノミヤ] 秋篠宮 [オイチノカタ] お市の方 [カスガノロツボネ] 春日局 大弐三位 [ダイニノ口3ミ] 大海人皇子 [オオアマノロオージ]

《例外》

軽皇子 [カルノ口ミコ] 有間皇子 [アリマノロミコ]



水曜日 勉強会のまとめ

昨年末に行った「水曜日勉強会のまとめ」を掲載します。「一番」などの「一」を仮名にするか数字にするか、および「して」のマス空けについてです。

仮名か数字か

●一番

原則:

名詞なら数字、副詞なら仮名。(参考1参照)

多くの場合、「一番」の直後に助詞が付いていれば名詞、付いていなければ副詞として判断して良い。(例外もあります)

以下の例文につき、参加者に順番に仮名か数字かを言ってもらいました。

- おばあちゃんが一番好き。
- ・一番多くぶつかったのは、休日の過ごし方です。
- ・リビングで過ごす時間が一番長いのは私ですから、一番は私のために。
- 3段ボックスの一番下の左側にあるよ。
- ・私の一番近くにいる人に気持ちを伝える。
- ・とはいえ、一番大切で大好きな夫に・・・
- ・この10年の中で一番、私が心地いいと感じられたお正月だったのです。
- ・書いた文章は、一番初めに夫に読んでもらいました。
- ・新しいメニューを生み出す、一番の方法は、これなんです。
- ・家の中を片付けるために一番いい方法。
- ・一番の収穫は、何気ないいつもの生活が・・・
- ・もちろん一番大切なのは、具合の悪い子供。
- ・景色の一番いい窓辺に座らせた。
- ・心配なのは一番下の修書(人名)だけだ。
- ・さらに、一番恐れるのは、狂気の世界に入ってしまうことだ。
- ・一番最初に出発するのは末弟であった。
- ・その席が最悪で急な階段の一番上。
- クラスの中で誰が一番デザインが巧いか。
- ・何の商品が今一番輸入されているか。
- ・女の子たちのなかから一番の巨乳で、一番見事な金髪をダンスフロアに連れ出し・・・
- ・今日の好一番はやはり横綱対決だ。
- ・ここの劇場は一番前の席が一番見やすい。

[以上の例はいずれも、「一番」の直後に助詞が付いているかどうかだけで機械的に判断できます。]

*ちょっと難しい例

- ・彼女はクラスで一番人気がある (仮名)
- ・彼女はクラスの一番人気だ (数字)
- ・将棋をもう一番お願いします (数字)

〈補足〉「一番絞り」「一番人気」「一番星」「一番乗り」「大一番」「開口一番」などのように、 「一番」が複合語の一部になっている時は、数字。

●その他「一」の例

- ・彼に一目置く。 (仮名)
- ・彼に一目も二目も置く。 (数字)
- ・役者が一枚上だ。 (仮名)
- ・役者が一枚も二枚も上だ。 (数字)
- ・心機一転する。 (仮名)
- ・計画が二転三転する。 (数字)

●質問のあった言葉:一遍

- 一遍行ったことがある (数字)
- ・もう一遍やってみてください (数字)
- ・一遍で成功した(数字)
- 一遍に酔いが覚めた (仮名)
- ・通り一遍のあいさつ (仮名)

*オマケ

- 一片の肉 (数字)
- ・一片の誠意も感じられない (仮名)
- ・態度が一変する (仮名)
- ・運動場を一周する。 (数字)
- ・彼は、その案を一蹴した。 (仮名)
- 一天にわかにかき曇る。 (仮名)
- ・駅まで一往復した。 (数字)
- ・一回転してボールをレシーブする (数字)
- ・一笑に付す。 (仮名)
- ・一筆申し上げます。 (仮名)
- ・昨夜は一睡もしなかった。 (仮名)
- ・敵の大将と一戦を交える。 (数字)

[参考1]

いちばん 【一番】 (大辞林。一部編集)

1(名)

- [1] 順番・番号などの最初。また、最初のもの。
 - 一番電車
 - 運動会で一番になった
- [2] 多くの中で最もよいもの。最上。
 - 寝るのが一番だ
- [3] 能・狂言、碁・将棋・相撲など「番」で数えるもの一つ。一回。一曲。
 - 相撲を一番取る
 - 結びの一番
- 狂言一番

2(副)

- [1] 最も。この上なく。
 - 一番早い
 - 一番よい品
- [2] 試しに。
 - ここは一番やってみるか

◆して

原則:

動詞の「して」はマス空けし、助詞の「して」は続ける。(参考2参照)

- (1) 右手を下げると、一瞬にして止んだ。
- (2) 警察を呼んできてもらうにしても、その間にどんなことが・・・
- (3) 木戸弁護士は逃げるようにして去っていった。
- (4) どのようにしてご覧になったのでしょうか。
- (5) ファベーラにしては小ぎれいな部屋だった。
- (6)女にしては大柄な彼女は・・・
- (7) 大根にしても現代のように青首ばかりではなく・・・
- (8) ローマは1日にして成らず。
- (9) 一夜にして白髪の老女になった。
- (10)二人して出かけたよ。
- (11) 一瞬にして消えた。
- (12) 上品にして、かつ下品だった。
- (13) その才能は生まれながらにして持っていたものだ。
- (14) 二十歳にしてやっと掴んだ仕事である。

- (15) 出産予定日の1ヶ月前にして、破水したのだった。
- (16) 巨大な野生動物にして超希少動物が裏山にいて・・・
- (17) 瞬時にして、そのようなことを感じ・・・
- (18) 一つとして満足にできない。
- (19) ようとして行方がわからない。
- (20) 天高くして馬肥ゆる秋。
- (21) 幼くして亡くなった。

[以上の例のうち、(2)~(7) および(18)(19) はマス空けし、その他は続けます]

[参考2]

して (大辞林 一部編集)

〔補説〕 動詞「する」の連用形「し」に接続助詞「て」の付いたものから

1 (格助)

- [1] 動作の手段・方法などを表す。「で」の意。
 - ・みんなしてやればすぐにできる
 - ・二人して考えよう
- [2] (「をして」の形で) 使役の対象を表す。古くは「して」だけでもいう。
 - ・彼をしてそのような態度をとらしめたものは何か
 - ・私をして言わしめれば、その説明では承服しかねる
- [3] (「にして」の形で)動作の行われる時間を表す。古くは空間を示すのにも用いられた。
 - 一瞬にして消え去った
 - ・売り出してからわずか10分にして売り切れてしまった
 - 30歳にして独立する

2(接助)

形容詞・形容動詞、および助動詞「ず」の連用形に接続する。上の語句を受けて、下に続ける働きをする。

- ・労多くして功少ない仕事だ
- ・明瞭にしてかつ簡潔な文章だ
- ・大胆にして自由な作風
- 策を用いずして勝つ

3(副助)

特にはっきりした意味はなく、ただ語調を整えるのに用いる。

- 期せずして意見が一致した
- ・この映画は題名からして変わっている

〈補足〉

なくして、なくしては

- そうではなくして私が言いたいのは……
- 彼なくしては会が始まらない

べくして

負けるべくして負けた

からして

- ・信用しているからして仕事を任せたのだ
- そんなわけだからして了承してもらいたい
- 言うことからしてなまいきだ
- ・身なりからして気高い。
- ・保存状態からして長持ちはしないだろう。
- 彼の性格からしてそんなことはないだろう
- [注意 1] 上の 2 例では、「保存状態からして」や「彼の性格からして」の「からして」を、「からすれば」とか「からすると」に置き換えてもほぼ意味は同じであり、この「して」は動詞「する」の活用形とも考えられる。したがって、これらの場合「からして」をマス空けしても間違いとは言えない。

[注意2] 「からしても」「からしてみると」はマス空けする。

- ・保存状態からしても長持ちはしないだろう。
- ・彼の性格からしてみるとそんなことはないだろう。

にして

- 幸いにしてけがは軽かった
- 今にして思えば
- 往々にしてあることだ

として

「として」は辞書の見出語に連語として載っているが、点訳では「主として」(「おもに」の意味)の時だけ続け、その他の場合はすべてマス空けする。



1. 夏期休暇 8月12日(火曜日)~16日(土曜日)

点字製作係の一斉休館日は図書館全体の休館日14日から16日に12・13日を追加し、12日 ~16日を休館とします。

炎暑しのぎがたい時季でもあります。この時ばかりは点訳のことも忘れて、ゆっくり身体を休めて下さい。

2. 読み分け辞書

2字以上から成る語で、2つ以上の読み方があり、その意味に多少とも違いがあったり、意味はほとんど同じでも文脈によって読み分ける必要のあるものを掲載しました。1字の語については、しばしば不適切な読みが見受けられるものについてのみ、いくつか掲載しました。

http://www5c. biglobe. ne. jp/~obara/kouen/kouen6shiryou. htm

●相対

あいたい: 当事者同士がさし向かいで事をなすこと。合意の上であること (→相

対で話をつける。相対相場、相対売買、相対死に)

そうたい:他との関係で存在・成立すること (→相対運動、相対主義)

●赤面

あかつら:ひどく赤い色をした顔。罵倒語 せきめん:恥ずかしくて顔を赤らめること

●空地

あきち:使われていない土地

くうち:空き地。都市計画で、公園・広場・道路など。建築基準法で、建物に占有

されていない部分 (→空地地区、有効空地)

など、多数の例を見ることができます。



原本への記入のお願い

①点訳ページ数

が

特に集まっ

T

いるエリアとなっ

T

1 3. 仕

事場などが集まり、

その

旧 販 • 5

建物をうまく改造してカフェやレ

ここはもともと、

スジーンズ)たちが、

西横堀と長堀を中心とした運河の川筋で、材木店の倉庫や木工が、いきなり示し合わせたように店を出したことに端を発する。

材木店の倉庫や木工工芸の

ストランとして転用

る大規模店舗も多い

物

飲

飲食のジ

ヤ

ンルを問

わず、

現在

の大阪

のカリ

ノスマ

オー

ナ L ③処理方法

小原はいかれて

[記入例]

現 在 進行形 の 南 船

またア (これは今では笑い話である)。 取り上げたファッション系情報誌もあったが、 南船場の発展は、 九 チストの浜崎健さん 初 ○年代半ば頃からミナミの はお メリカ村と長堀通りを挟んですぐ北にあるロ およそ、 九〇年代になって鰻谷(東心斎橋) 現在のような (浜崎健立現代美術館) 動 「新しい街として分節され T いる街」 やキタで店舗を構えて

新

い街の名前

しては定着しなかっ

から突然

いた山根英彦さんの地に拠点を移

ケーシ

5

「カナダ村」と称して

とし

T

脚

光

浴

び

続け

る

南

船

場

3

とは予想もしなかっ

②辞書調べの結果

n そんな街人たちの営みと街場との シ 方 3 " を象徴するものである。 プ 0) 空間 雰 井 気を演 出 彼 関 50 T わり は、 南 個々のスピリ 船場 まさに今の 0 空気 ッ 0 時 ツ 代の 端を担う。 が 商品やサ 大阪 ミナミら ビスに映し出

点字図書を作る上で一番時間がかかるものは、1校も2校も同じです。できるだけスムーズに進め、 利用者に手渡すまでの時間を短縮する上にも下記の書き込みをお願いします。

短期間で一冊の本を校正するのは大変な負担です。その負担を少しでも和らげる意味もあり、また 自分で読み返す場合にも役立ちます。

原本(リクエストの図書は例外)には必要なことは何でも記入して下さい。図書に書き込みをする ことに抵抗感をお持ちの方もありますが、ぜひお願いします。

①点訳ページ数

点訳ページ数は必ず入れて下さい。1ページ毎でも、主要な項目毎でも結構です。原本と照合するときに必要となります。

修正を加えると最初に入れたページ数とずれる場合もありますが、多少のズレならそのままでも結構です。ある程度の目安がわかれば作業効率もぐっとアップします。

②辞書調べの結果

漢字の読みに関しては下記の記号の付記をお願いします。これによって 2 校者が再度調べる 手間も省け、また点訳者の意思もよく伝わります。

- ◎ 辞書などで調べたもの
- ? 辞書になく、推測読み。
- 読みが複数以上あって、特定の読みに決めたい場合(希望のキの意味)

なお、読めない漢字がありましたら調べます。遠慮なく申し付け下さい。

③点訳ルール その他

マス空けや、その他気がついたことを何でも記入して下さい。

⊕ ルールを理解した上で、切れ続きを変えたい場合(希望のキの意味)



ファイル名に漢字使用が可能になりました

今までは MS-DOS 上のソフト「BASE」を利用する読者がおられる関係上、ファイル名を半角 8 文字以内にお願いしていましたが、ほとんどの利用者が Windows に移行されました。

従って、ファイル名は自由に付けていただいて結構です。漢字を使ってわかりやすい名前をつけて 下さい。もちろん従来通りでもかまいません。

『点訳のてびき』見直し勉強会

下記の予定で『点訳のてびき』見直し勉強会を開催します。できる多くの参加をお願いします。 改めて見直すと、今まで何となくわかっていたこともはっきり見えてきたり、ついつい見過ごして きたルールも発見することもあります。

	火曜日 13~15時	水曜日 13:30~15:30	木曜日 13~15時	金曜日 13~15時
10月	7日	8日	16日	2 4 日
1 1 月	4日	12日	13日	2 1日
12月	2日	10日	18日	19日



◆ 地図を購入しました

世界地図と日本地図を一冊にまとめたコンパクトな地図を購入しました。辞書の棚に配置していますので点訳の参考にお使い下さい。

◆ マス空け辞典をプリントアウトしています

パソコンで簡単に検索でき、活用していただいています『マス空け辞典』をプリントアウトしました。パソコンの辞書はこまめにバージョンアップしていますが、毎回プリントする事ができません。 最新のものはパソコンでの検索をお願いします。

とは言え、書籍感覚で調べることができる冊子版も便利です。活用下さい。

◆ 資源の分別回収に協力下さい

点字製作係の性格上、大量の紙を消費します。それは仕方のないことですが、使い終わった用紙の回収をお願いします。

また、紙であれば菓子箱、包み紙など何でも回収します。但し、セロテースなど紙ではないものはあらかじめはずして下さい。



立体コピーなど紙ではないものも除外して下さい。一緒に混ぜると資源として活用できません。



これから暑い季節を迎えますが、飲み終えました「ペットボトル」「空き缶」などは1階の自販機横の回収ボックスやコンビニ、スーパーなどにお返し下さい。

私たちは文化を提供する施設で活動しています。

文化と共に、素晴らしい環境も子孫に引き継いでいきたいと

思います。ほんの少しの努力で見違える世界へと変貌していくこと間違いありません。 みなさまのご協力をお願いします。



『誤読の部屋』と言うホームページがあります。少しデータは古いのですがその一部を紹介します。

木を大切にする → 「きをおおぎりにする」 (正:きをたいせつにする)

思わず逆上した → 「おもわずさかあがりした」 (正:…ぎゃくじょうした)

植木等にご利用ください → 「うえきひとしにごりようください」 (正:植木などに…)

秋の気配 → 「あきのきくばり」 (正:あきのけはい)

博多屋台風ラーメン

 \rightarrow 「はかたや たいふうラーメン」 (\mathbb{E} : はかた やたいふうラーメン)

寒気団 → 「さむけだん」 (正:かんきだん)

美人局アナ → 「つつもたせアナ」 (正:びじんきょくアナ)

冷奴 → 「つめたいやつ」 (正:ひややっこ)

カタ焼そば → 「ちからゆうやけそば」 (正:かたやきそば)

人気のない部屋 → 「にんきのないへや」 (正:ひとけのないへや)

大人気ない → 「だいにんきない」 (正:おとなげない)

旧中山道 → 「いちにちじゅうやまみち」 (正:きゅうなかせんどう)

思わず吹き出してしまう珍回答もあります。

私たちもこのような間違いをしていないでしょうか?

『少し辞書を引けば! こんな読みをしないのに』など漢字の読みの間違いに対する話を時々耳に します。

大阪で「十三」を「じゅうさん」と読まれると、何処のことなのかわかりません。でも青森県北津軽郡では「じゅうさん」と読まなければなりません。が、青森県津軽地方の民謡「十三の砂山」は「とさのすなやま」となります。地名が「じゅうさん」だから勝手に判断して「じゅうさんのすなやま」と読むと間違いになります。

現在『読み方調べ』には160万語が登録されています。使い方はいたって簡単です。ぜひ活用下さい。使い方の分からない方、忘れてしまった方は声をかけて下さい。親切丁寧に説明します。

辞書の少ない時代もありましたが、現在では『読み方調べ』を利用していただければたちどころに解決します。墨字の辞書にない要素として、漢字から検索できる、複数の辞書を同時に調べたのと同じ結果を得ることができる。検索時間が早い(1秒以下)など数々の特徴を持っています。

しかも、この辞書に出て来ない漢字は調べて回答するという特権付きです。お気軽に木村まで声をかけて下さい。

今年こそ読み間違い「O」になりますようお願いします。